

品質管理基準及び規格値

工種	種別	区分	試験項目	試験方法	規格値	試験時期・頻度	摘要	成績表等による確認
31 鉄筋挿入工	施工	必須	引き抜き試験 (受け入れ試験) 引き抜き試験 (適合性試験)	地山補強土工法設計・施工マニュアル	設計図書による。	<ul style="list-style-type: none"> 施工全数量の3%かつ3本以上を標準とする。 載荷サイクルは1サイクルとする。 		
		その他	適合性試験	地山補強土工法設計・施工マニュアル	設計図書による。	<ul style="list-style-type: none"> 地層ごとに3本以上を標準とする。 載荷サイクルは多サイクルとする。 初期荷重は、5.0kNもしくは計画最大荷重の0.1倍強度とする。 		
32 砂基礎工	材料	必須	締固め試験	JIS A 1210		当初及び材料が変わった場合		
			土粒子の密度試験	JIS A 1202		当初及び材料が変わった場合		
			土の粒度試験	JIS A 1204		当初及び材料が変わった場合		
施工		必須	現場密度の測定	JIS A 1214	最大乾燥密度の85%以上。 締固め度＝ $\frac{\text{現地で締め固めた後の乾燥密度}}{\text{JISA1210の試験方法による最大乾燥密度}} \times 100(\%)$ 上記によらない場合は特記仕様書によるものとする。	延長200mごとに1回 上記未滿は2回測定する。 なお、基礎部横断方向の測定箇所は下図を標準とする。		